

## 福島県立相馬養護学校の移転について

### 1 沿革

- 昭和46年 相馬市立中村第一中学校を仮校舎として創立  
(小学部、中学部)
- 昭和47年 現校舎に移転
- 平成12年 高等部開設
- 平成22年 県立に移管(創立40周年)
- 平成23年 震災により校舎被災、原発事故により富岡養護学校の一部の児童生徒が転入したことにより仮校舎増築

### 2 現状

- (1) 児童生徒数の推移  
震災前の平成22年度の総数は67名であったが、年々増加し平成27年度には、90名になる。
- (2) 南相馬市出身者の在籍児童生徒数(今年度)  
全生徒数の約7割が南相馬市から通学している。

### 3 課題

- (1) 施設の老朽化と高等部生徒の増加
- (2) 校庭、体育館等の未設置

### 4 移転に向けた福島県の動き

- (1) 平成25年度に『特別支援学校全体整備計画』を策定
- (2) 平成26年度に『特別支援学校整備指針』を策定

### 5 移転先決定の観点

- (1) 交通の利便性が良いこと。  
・小中学部においては、通学バスの運行及び保護者による送迎  
・高等部においては、自力通学に必要な公共交通機関
- (2) 一定の敷地面積があること。(校舎・体育館・校庭の設置の広さ)
- (3) 公有地であること。

### 6 結論 相馬養護学校の移転先は『南相馬市鹿島区』とする

### 7 今後のスケジュール

- 平成27年度
- ・地域住民への説明会の開催
  - ・候補地決定し、県教育長より南相馬市へ正式依頼
  - ・基本設計完了
- 平成28年度以降
- ・実施設計(1年程度)
  - ・校舎建設、環境整備(2年程度)
  - ・開校